

第 2 学年	社会 科	使用する教材： ・教科書 ・ノート ・資料集 ・地図帳 ・学習整理（ワーク）	担当教諭 三浦 僚
--------	------	--	--------------

学習目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。
--

通知表のつけ方

評価の観点		評価材料
知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べてまとめている。	○授業のようす ○提出物 ○学習課題 ○定期試験
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	

授業計画

	単元	学習内容	付けたい力	備考
前期 (4月～9月)	<地理> 世界の諸地域	北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州	○世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	地域調査の手法		○地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。	
	日本の地域的特色と地域区分	九州地方 中国・四国地方 近畿地方 中部地方 関東地方 東北地方 北海道地方	○日本の地域的特色を、①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	
	日本の諸地域		○日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	地域の在り方	地域の在り方	○地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。	
	<歴史> 4 近世の日本	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	○当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解している。	
後期 (10月～3月)	4 近世の日本	江戸幕府の成立と対外政策 産業の発達と幕府政治の動き	○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ○近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近世の日本について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
	5 開国と近代日本の歩み	欧米における近代化の進展 欧米の進出と日本の開国 明治維新	○開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ○開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ○近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	